

小学生が外科医に変身

模擬手術



外科医の指導を受けながら腹腔鏡手術のシミュレーターに挑戦

どきどき
わくわく

命を救う、カッコいいお医者さんに変身。弘前市の弘前大学医学部で6月29日、小学6年生を対象にした外科手術体験セミナーが行われました。市内の48人が、本物の医療器具やシミュレーターを使った模擬手術に挑戦しました。

セミナーは、子どもたちに医療に興味を持ってもらうと、弘大医学部付属病院外科が企画。これまでは主に医師を目指す高校生が対象で、小学生向けは今回が初めてで

弘大でセミナー

す。

参加者は、ぼうしとマスク、手術着、手袋を身につけた後、細かく振動する超音波メスで鶏肉を切ったり、シミュレーターで、モニター画面を見ながら胆のうを切り取る腹腔鏡手術を体験しました。

福村小の石岡梢君は「手術着は暑くて大変だったけど、細かい作業が好きなので楽しかった」、松原小の鳴海愛華さんは「シミュレーターでいっぱい血が出てびっくりした。将来は医者になって、手術できるようになりたい」と笑顔で話していました。



超音波メスを使って鶏肉を切ってみる参加者